

スカウト
通 信

こんこう スカウト
KONKO SCOUT

発行 金光スカウト協議会 岡山県浅口市金光町大谷320 金光教本部教庁内

「金光スカウト90周年 評議員会(総会)開催」
2014年2月11日(祝) 御本部



今年は、金光教少年団(スカウト運動)が結成されて満90年を迎えることから、一昨年より本年度の予定・計画が理事会を中心に話し合われて来ており、その経緯と具体について審議がなされました。

本部広前でのご祈念後、会堂南の間で記念撮影、その後西二階に移動、90年セレモニーを行い、当協議会名誉総裁の教主金光様、副会長の計4名の方々に、永年のお働きに対して記念品(ブロンズのスカウト像)をお贈りいたしました。金光様には、記念撮影後、会長・理事長・金光常務理事の3名が、御宅に持参し、お渡し申し上げました。

総会の中では、活動報告・活動計画について活発な審議がなされました。終了後、土佐家旅館にて懇親会を行いました。



金光スカウト信仰セミナー 金光教章取得講習会 ー京都開催ー

平成 25 年 8 月 24 日～ 25 日京都の伏見教会にて金光スカウト信仰セミナー大阪第 25 期を主任講師近藤和明師のもと開催した。当日雨の中、6 名の参加者が制服で順次受付し、教会の広前でご祈念・御取次をいただき、セミナーが始まった。

今回の参加者は金光教スカウト団 5 名、金光教スカウト団以外が 1 名でしたがそのスカウトも家族と一緒に日頃教会に参拝とのことでありました。

今までセミナー会場は大阪が多く、今回久しぶりに京都での開催となり、講師には京都の教会の先生方にもお願いし、スタッフも京都の指導者にご奉仕をいただきました。

講話については事前に講話題名とねらいをお伝えし、内容については講師にお任せしています。

参加のスカウトにとってはたえず聞く側になり、進める大人にとっては進めやすいのですが、この体制でいいのかは今後検討する必要があるでしょう。

夜のミーティングでは「スカウトの活動と信仰について」と題し、フォーラム形式で進行しました。スカウトに入った時のきっかけやスカウト仲間、家族・学校友達との関わり等熱く話し、意見交換ができました。時折話筋がそれかかった際スタッフがタイムリーにアドバイスをし、2 時間が短く感じたひと時でした。

事後の課題については、みおしえの実践をレポートとして提出してもらっているがセミナーの中でどのようにするかを明確にして送り出すことができていない反省点がありました。スカウトにとってははっきりしたみ教えをもって教会の先生と話し合う道筋をセミナー中に示しておけば課題の取り掛かりはスムーズになるのではないかと今後改善したいと考えています。

主任講師の近藤和明師はこのセミナー 4 ヶ月後にご帰幽なされ謹んでおくやみ申し上げます。



諸先輩方をお偲びいたしまして

ここに、金光教スカウト協議会近藤和明副理事長（平成 25 年 12 月 27 日満 60 歳ご帰幽 小阪教会長）。同じく今田惇治理事（平成 26 年 3 月 30 日満 76 歳ご帰幽 西大寺教会輔教）。同じく松本眞弘前相談役（平成 25 年 4 月 2 日満 84 歳ご帰幽 前浦和教会長）。同じく三木宏元副理事長（平成 25 年 8 月 27 日満 81 歳ご帰幽 豊里教会長）。4 名の方々の訃報のお知らせを致さねばなりませんことは、誠に悲しいことでございます。

4 名の方々の長きに渡りましての、大きな働きに心より感謝し、お礼申し上げます。

眼を閉じれば、皆様方の制服でのお姿、今尚新しく、ご一緒させて頂きました多くの活動の場面々が懐かしく思い出されます。お教え頂きましたことを大切に参ります。どうぞこれからもお見守り下さいませ。

金光スカウト信仰セミナー 金光教章取得講習会 ー 霊地開催 ー

平成 26 年 3 月 8 日（土）～ 9 日（日）の 2 日間、金光教本部において金光教章取得講習会をスカウト 7 名の参加を得て、また前回参加したスカウトが奉仕スタッフとして関わり、総勢 16 名で開催いたしました。

本年はスカウト協議会 90 周年のお年柄にあたることから願いを立てて、2 年ぶりにご霊地開催が実現いたしました。

浅口第 1 団の指導者である金光清治先生を主任講師として、金光教祖様の御教えや歩まれ方の講義や、お結界での御取次の頂き方やお広前での礼拝の作法などの実習、また教主金光様のお出ましを頂き、教主金光様とともに心中祈念を通して、365 日変わる事のないお姿をあらためて実感させて頂きました。

さらには人が助かるお結界で、御取次を一人ひとりが頂き、スカウト一人ひとり、道を頂かせてもらい、スカウト自身が生活で現われてくる神人の道にふれました。

参加スカウトからは、「知られざる金光教を知ることができました」との声が聞かれました。

「ご霊地から信心の風を」。これからも核となって発信できていくよう、来年からは毎年 3 月の第 1 週の土日に開催していく予定ですので、ご参加ください。



第16回 日本ジャンボリー 開催報告

(第30回 アジア太平洋地域スカウトジャンボリー)

河端 秀次 (ジャンボリー宗教部金光教代表)

8月1日より7日にかけて、山口市阿知須「きらら浜」を主会場として、第16回日本ジャンボリー(第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー)が開催された。今大会は、2015年に同じ会場で開催される第23回世界スカウトジャンボリーのプレ大会であり、52の国と地域の外国人1400人を含む1万4000人が参加した。

大会期間中、小学6年生から高校生までのスカウトと指導者は、キャンプ生活をしながら、場内プログラムや県内外に出向く地域プログラムに参加した。



場内の信仰奨励エリアでは、宗教部による19教宗派(神社本庁・天台宗・浄土宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・高野山真言宗・曹洞宗・日蓮宗・立正佼成会・孝道教団・日本聖公会・日本カトリック教会・末日聖徒イエスキリスト教会・日本基督教団・金光教・世界救世教・イスラム教・天理教・韓国円仏教)のブースを開設し、スカウトの信仰に基づく宗派が興味のある宗派の教導職より教話を聞き礼拝を行った。金光教ブースでは、金光教スカウト協議会理事並びに山口県内の教師による奉仕に支えられ、神殿、結界、広前、展示コーナーを設けて参加者を受け入れることができた。地域プログラムでは、広島平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に参拝・見学・被爆体験記朗読会聴講等のプログラムもあり、外国スカウトを含め100名の代表による広島平和式典参列も行われた。

4日には外国の参加国や日本各地の文化、多様性のある宗教、山口の文化を体験する「文化交流日(Cultural Exchange Day)」とし、各教宗派の宗教儀礼、参加者全員による信仰奨励の集い、皇太子殿下・安倍首相を始め多くの来賓出席者によるアリーナショー、夜には日本連盟主催による宗教代表者レセプションが開催された。

金光教宗教儀礼では集合時間帯に集中豪雨があったため、集合できなかったスカウトもあったが、230名が参加して執り行いました。その後の信仰奨励の集いでは、金光スカウトを代表して浅口第1団 加藤裕樹くんが、日本語と英語による金光教の紹介を行った。アリーナショーでは、スカウトOBゲストスピーチに野口聡一宇宙飛行士が登場すると、スカウトは大歓声を上げて歓迎した。宗教代表者レセプションでは金光教を代表して金光清治協議会役員が挨拶をし、日本連盟役員並びに教宗派代表者との親交を深めた。

7日夜、閉会式を迎えたスカウトは、連日の猛暑と「スカウトのつとめ」を果たした自信と感動に溢れていた。

11泊12日、神様のおかげの中で、道の友に支えられて奉

仕できたことに感謝している。

2015年、第23回世界スカウトジャンボリーが「きらら浜」で開催され、日本の宗教として金光教の参加も決定している。教団を挙げて、世界161の国と地域から参加する約3万人のスカウトを「おもてなし」の心で迎えたいものであります。



再度のお知らせ!!

金光スカウト90周年DVDの作成について

「目で見る90年」のDVDを作成させていただくことが、決定いたしました。つきましては、その中に各団を紹介させていただくことになりました。お手数とは存じますが、団を紹介できる活動写真または集合写真を3枚(掲載してほしい順番をつけて)下記アドレスまで6月30日必着で、送っていただきますようお願いいたします。

送付先メールアドレス himawari@gol.com

第10回「金光教スカウト団交流研修会」開催

平成25年6月15日 於:呉教会

第10回金光教団交流研修会が、バケツの水をひっくり返したかの様な大雨のなか、広島県呉教会を会場に開催されました。ボーイスカウト団8ヶ団、ガールスカウト2ヶ団(8教会:泉尾教会、霊地、新見教会、角野教会、呉教会、高須教会、久原教会、熊本教会)が集いました。

今回は、スカウト団同志の交流は開催の目的であることは勿論のこと、特に金光教呉教会長(スカウト協議会副会長)木村廣男先生の話をお聞かせいただきたいとの思いから、皆が心弾ませて集いました。講題は「この道を行く」と題されての講演を時間を忘れて拝聴させて頂きました。一部分を紹介させて頂きますと、信心もスカウティングもテクニックを習って行くのではなく、生活そのものを習って行くもの。そして、自らが生み出して行くことが大切。お互いが、良き一つ一つの種になって行くこと、そしてその一つ一つの種をお互いが育てることが大切なんです。どうか指導者は始導者であって欲しい。等々

私も、もっとガンバローっとの思いが湧き立ちました。

その後は、大和ミュージアムを見学するなど参加者お互いに懇親を深めました。

